

モヤイ像を探したくなる 新島MAP



新島村役場
黒雲母流紋岩

新島村



〒100-0402 東京都港区新橋一丁目1-1 04992-5-0240 会社3年連続

新島村役場 黒雲母流紋岩

新島村



モヤイ像って何？



渋谷のモヤイ像ってとても有名ですよね？
実は新島村が贈ったモヤイ像なんです。

新島のモヤイ像、その起源は1964年の東京五輪後、島民である大後友市さんが島おこしの起爆剤として新島特産のコーガ石を使って「流人のオングイ（島の言葉でインジイ）」を彫ったことからはじめました。

新島は江戸時代から明治初期まで、流刑地として1,000人以上の人々が流され、その中にいた豊富な知識で島民に慕われていた「流人のオングイ」をモチーフにしたのがその経緯です。

1977年から数年間、観光客にモヤイ像を彫ってもらう体験ツアーが開催され、島内にモヤイ像が点在するきっかけとなりました。モヤイ像の人気は海を越え、都内をはじめ各地へ寄贈されるようになりました。渋谷のモヤイ像もそのひとつです。

モヤイの語源はイースター島のモアイ像をただじめた言葉ではなく、島のことばで「助け合い」。昔から新島では厳しい自然環境の中、島民同士が力を合わせて生活してきました。それから島民の精神を新島では「モヤイ」と呼んでおり、今なお島民に受け継がれているとても素敵な言葉です。

また、JR蒲田駅前のモヤイ像脇の石碑には「モヤイ合う力がそれぞれの地に平和と繁栄の担い手になることを約して、母であり師である東京都のこの地に贈る」と作者の言葉が刻まれています。モヤイ像はただの観光資源ではなく、世界中の人々が助け合い、

平和と繁栄を願う象徴でもあります。

そんなモヤイ像ですが、島内に点在するモヤイ像はすこし怖いものから、とてもひょうきんなものまで個性的なものがたくさんあります！

このマップでは島内のモヤイ像の一部をご紹介。（私有地や観光施設以外を除く）さあ！このマップを持ってモヤイ像を探しに行きましょう！あなたは何体のモヤイ像に出会えるかな？



モヤイ像の石「コーガ石」

モヤイ像に使われているのは「黒雲母流紋岩」またの名を「コーガ石」。

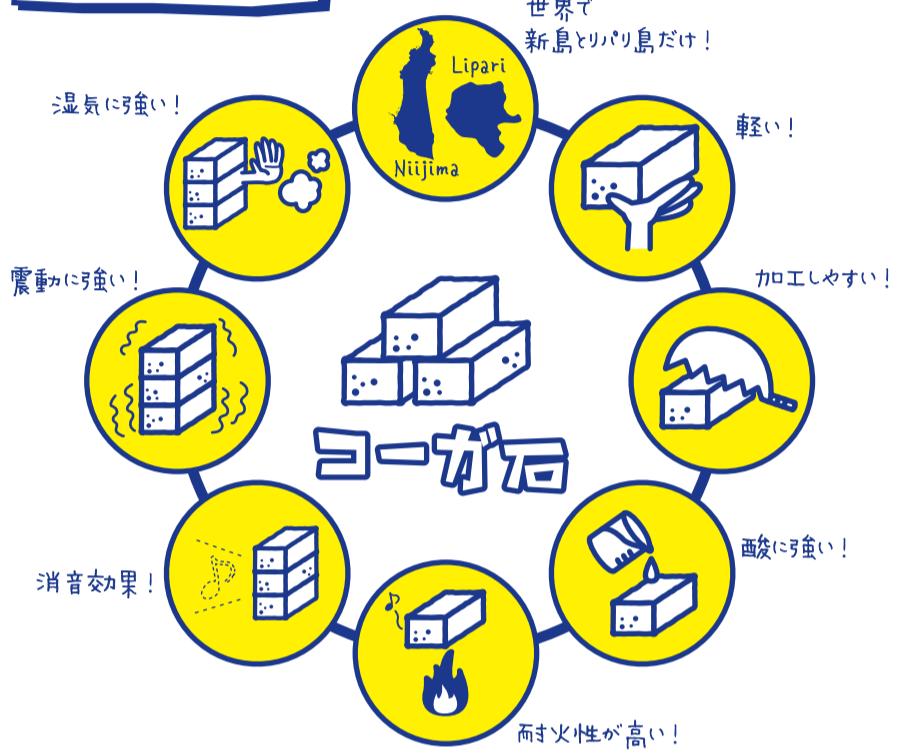
世界では新島とイタリアのリパリ島でしか採れません。

新島のほとんどがこのコーガ石でできており（島の北側の一部を除く）、島の南に位置する向山のコーガ石は特に良質なものになります。

普通の石より比重が軽く、水に浮かびます。また、酸に強く、多孔性の石なので熱伝導率が低く耐火性に優れています。加工が簡単、消音効果もあり、セメントとの相性も良いため、古くから家や壁などの建築材料として広く用いられ、村内を歩くとコーガ石造りの街並みを見ることができます。

さらに高温で溶かすとオーラー色がかわいい「新島ガラス」になり、様々なガラス製品も作られています。

コーガ石はスゴイ！



海を越えたモヤイ像

渋谷のモヤイ像を筆頭に新島から飛び出し、全国各地にもモヤイ像があります。このページではそのいくつかをご紹介。新島以外で見かけたとき、きっと嬉しくなるはず！

山形県鶴岡市
羽黒体育館

JR蒲田駅東口

JR渋谷駅西口

岐阜県土岐市
丸美陶器株式会社

岐阜県土岐市
丸美陶器株式会社

芝増上寺境内

東京都青ヶ島村

静岡県下田市

竹芝桟橋

ほかにも

お台場海浜公園、青森県深浦町

茨城県石岡市

柏原池公園

ほかにも

お台場海浜公園、青森県深浦町

モヤイ像を探してみよう

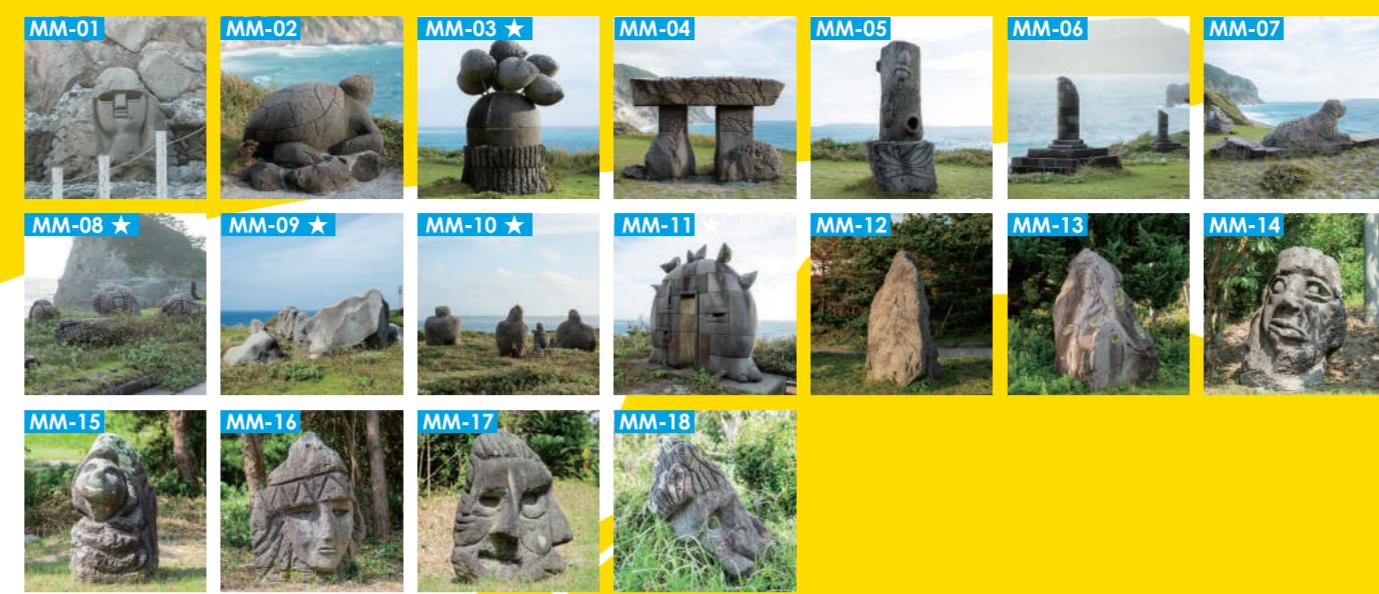
表面のモヤイ像については理解されましたか？

では！早速、モヤイを探し出かけてみましょう！

新島には100を超えるモヤイ像があります。あなたは何体のモヤイ像に出会うことができるかな？

実はここだけの話、掲載されていない「隠れモヤイ」もあったりしますので、ぜひ探してみてください！

(民家や立入禁止の施設には入らないようにしましょう！)



平成新島トンネル
(自転車・歩行者の通行は禁止)



羽伏浦海岸

羽伏浦港

MH(前浜エリア)

MH(前浜エリア)

